

# ラボ1 VM内で稼働するSQL ServerにVM内のSSMSから接続する

- 「SQL Server on Azure VM」リソースを作成
- リモートデスクトップ接続を使用してVMに接続
- (VM内部で)Microsoft SQL Server Management Studio (SSMS)を起動
- (VM内部で)SSMSを使用してSQL Serverに接続できることを確認



## Azure サービス



リソースの作成

クイックスタート

## リソース

最近

お気に入り

名前

## 移動



サブスクリプション

## ツール



Copilot に質問する

すべて

サービス (99+)

Marketplace (13)

▼ 増やす (4)

サービス

もっと見る

Azure SQL

Azure Database for MySQL

Database watchers  
キーワード: azure sql

SQL データベース

Marketplace

もっと見る

Azure SQL

Azure SQL Managed Instance

Azure SQL インスタンス プール

Azure SQL Analytics (プレビュー)

ドキュメント

もっと見る

Azure SQL の基礎 - Training



Azure SQL とは - Azure SQL



Azure SQL Database のドキュメント - Azure SQL



Microsoft Entra ID で検索を続行してください

すべてのサブスクリプションを検索しています。

フィードバックの送信

ストレージ アカ  
ウントSQL データベー  
スAzure Cosmos  
DB

その他のサービス

最終表示日



ダッシュボード

[ホーム](#) >

# Azure SQL

cloudslice (cloudslice.onmicrosoft.com)

[+ 作成](#) [🕒 予約](#) [⚙️ ビューの管理](#) [🔄 更新](#) [⬇️ CSV にエクスポート](#) [🔗 クエリを開く](#) | [🏷️ タグの割り当て](#) [🗑️ 削除](#)サブスクリプション 次の値と等しい **すべて**リソース グループ 次の値と等しい **すべて** ×場所 次の値と等しい **すべて** ×[+🔍](#) フィルターを追加

0 件中 0 ~ 0 件のレコードを表示しています。

グループ化なし

≡ リスト ビュー

名前 ↑↓

リソース... ↑↓ サービス層 ↑↓

リソース グループ ↑↓

場所 ↑↓

サブスクリプション ↑↓



## 表示する Azure SQL リソース がありません

Azure SQL Database はフル マネージドのサービスとしてのプラットフォームであるデータベース エンジンであり、アップグレード、修正プログラム適用、バックアップ、監視などのデータベース管理機能のほとんどをユーザー操作を伴わずに処理します。

[Azure SQL リソース の作成](#)[詳細情報](#) [🔗](#)

[ホーム](#) > [Azure SQL](#) >

# SQL デプロイ オプションを選択する

Microsoft

[フィードバック](#)

## サービスをどのように使用する予定ですか？

SQL Database Hyperscale: 低コスト、高スケーラビリティ、最適な機能セット。 [詳細情報](#)



### SQL データベース

最新のクラウド アプリケーションに最適です。Hyperscale とサーバーレスのオプションを利用できます。

リソースの種類

単一データベース



作成

[詳細の表示](#)

### SQL マネージド インスタンス

クラウドへのほとんどの移行に最適です。リフトアンドシフトに対応しています。

リソースの種類

単一インスタンス



作成

[詳細の表示](#)

### SQL 仮想マシン

OS レベルのアクセスを必要とする移行とアプリケーションに最適です。リフトアンドシフトに対応しています。

イメージ ①



作成


[詳細の表示](#)

高可用性


[ホーム](#) > [Azure SQL](#) >

# SQL デプロイ オプションを選択する

Microsoft

 フィードバック

## サービスをどのように使用する予定ですか？

 SQL Database Hyperscale: 低コスト、高スケーラビリティ、最適な機能セット。 [詳細情報](#)



### SQL データベース

最新のクラウド アプリケーションに最適です。Hyperscale とサーバーレスのオプションを利用できます。

リソースの種類

単一データベース



作成

[詳細の表示](#)

### SQL マネージド インスタンス

クラウドへのほとんどの移行に対応しています。

リソースの種類

単一インスタンス



作成

[詳細の表示](#)

#### SQL Server 2022 on Windows Server 2022

Free SQL Server License: SQL Server 2022 Developer on Windows Server 2022

#### SQL Server 2022 on RHEL 8

Free SQL Server License: SQL Server 2022 Developer on Red Hat Enterprise Linux HA 8.6

#### SQL Server 2022 on Ubuntu Pro 20.04

Free SQL Server License: SQL Server 2022 Developer on Ubuntu Pro 20.04

#### SQL Server 2019 on Windows Server 2022

Free SQL Server License: SQL Server 2019 Developer on Windows Server 2022

#### SQL Server 2019 on Windows Server 2019

free

作成

[詳細の表示](#)☐ 高可用性

[ホーム](#) > [Azure SQL](#) >

# SQL デプロイ オプションを選択する

Microsoft

[フィードバック](#)

## サービスをどのように使用する予定ですか？

SQL Database Hyperscale: 低コスト、高スケーラビリティ、最適な機能セット。 [詳細情報](#)



### SQL データベース

最新のクラウド アプリケーションに最適です。Hyperscale とサーバーレスのオプションを利用できます。

リソースの種類

単一データベース

[作成](#)[詳細の表示](#)

### SQL マネージド インスタンス

クラウドへのほとんどの移行に最適です。リフトアンドシフトに対応しています。

リソースの種類

単一インスタンス

[作成](#)[詳細の表示](#)

### SQL 仮想マシン

OS レベルのアクセスを必要とする移行とアプリケーションに最適です。リフトアンドシフトに対応しています。

イメージ ⓘ

Free SQL Server License: SQL Server ...

[作成](#)[詳細の表示](#)

高可用性

[ホーム](#) > [Azure SQL](#) > [SQL デプロイ オプションを選択する](#) >

# 仮想マシンの作成

[低コスト VM の作成に関するヘルプ](#)[高可用性のために最適化された VM の作成に関するヘルプ](#)[ワークロードに適した VM サイズの選択に関するヘルプ](#)

## 基本

[ディスク](#)[ネットワーク](#)[管理](#)[監視](#)[詳細](#)[SQL Server の設定](#)[タグ](#)[確認および作成](#)

Linux または Windows を実行する仮想マシンを作成します。Azure Marketplace からイメージを選択するか、独自のカスタマイズされたイメージを使用します。[基本] タブに続いて [確認と作成] を完了させて既定のパラメーターで仮想マシンをプロビジョニングするか、それぞれのタブを確認してフル カスタマイズを行います。[詳細情報](#)

## プロジェクトの詳細

デプロイされているリソースとコストを管理するサブスクリプションを選択します。フォルダーのようなリソース グループを使用して、すべてのリソースを整理し、管理します。

サブスクリプション \* ⓘ

DP-300 CSR 3



リソース グループ \* ⓘ

DP300Mod01lod46618117



新規作成

## インスタンスの詳細

仮想マシン名 \* ⓘ

azureSQLServerVM



リージョン \* ⓘ

(US) West US 2



可用性オプション ⓘ

インフラストラクチャ冗長は必要ありません



セキュリティの種類 ⓘ

Standard



&lt; 前へ

次: ディスク &gt;

確認および作成

[フィードバックの送信](#)

[ホーム](#) > [Azure SQL](#) > [SQL デプロイ オプションを選択する](#) >

# 仮想マシンの作成



低コスト VM の作成に関するヘルプ

高可用性のために最適化された VM の作成に関するヘルプ

ワークロードに適した VM サイズの選択に関するヘルプ

可用性オプション ⓘ

インフラストラクチャ冗長は必要ありません



セキュリティの種類 ⓘ

Standard



イメージ \* ⓘ

Free SQL Server License: SQL Server 2019 Developer on Windows !

[すべてのイメージを表示](#) | [VM の世代の構成](#)

このイメージには、機能の互換性がより高い第2世代バージョンがあります。 [第 2 世代バージョンに切り替えるには、ここをクリックしてください](#)

VM アーキテクチャ ⓘ

☐ ARM64☒ x64

Arm64 は、選択したイメージではサポートされていません。

Azure Spot 割引で実行する ⓘ

☐

サイズ \* ⓘ

[すべてのサイズを表示](#)

選択したスコープのポリシー割り当てに基づく項目の可用性。

policyAssignment1943 ([ポリシーの詳細](#))

値を空にすることはできません。

ほとんどの機能を有効にする ⓘ

☐

&lt; 前へ

次: ディスク &gt;

確認および作成

フィードバックの送信



[ホーム](#) > [Azure SQL](#) > [SQL デプロイ オプションを選択する](#) > [仮想マシンの作成](#) >

# VM サイズの選択 ...



コストの表示: 月単位

vCPU 数: すべて

RAM (GiB): すべて

+ フィルターの追加

772 件の VM サイズを表示しています。

サブスクリプション: DP-300 CSR 3

リージョン: West US 2

現在のサイズ: Standard\_D2s\_v3

イメージ: Free SQL  
Server License: SQL  
Server 2019  
Developer on  
Windows Server  
2022[VM サイズに関する詳細情報](#)

シリーズでグループ化



VM サイズ ↑↓	種類 ↑↓	vCPU 数 ↑↓	RAM (GiB) ↑↓	データ ディスク ↑↓	最大 IOPS ↑↓	ローカル ストレージ ... ↑↓
Azure ユーザーが最もよく使用 <a href="#">↗</a>						
Azure 内のユーザーによって最も使用されているサイズ						
D2s_v3 <a href="#">↗</a>	汎用	2	8	4	3200	16 (SCSI)
D シリーズ v5						
汎用のニーズを満たすために推奨されている第 5 世代の D ファミリのサイズ						
D シリーズ v4						
汎用のニーズを満たす第 4 世代の D ファミリのサイズ						
D2s_v4	汎用	2	8	4	3200	該当なし
D シリーズ v3						
汎用のニーズを満たす第 3 世代の D ファミリのサイズ						
ポリシーによってブロック ⓘ						
組織には、これらのサイズを制限する Azure ポリシーが設定されています。						

選択

示されている価格は、USD での見積もり価格であり、Azure インフラストラクチャのコストと、サブスクリプションおよび場所に対する割引のみが含まれます。価格には、適用されるソフトウェアのコストは含まれません。最終的な料金は、コスト分析と課金のビューに現地通貨で表示されます。 [Azure 料金計算ツールを表示します](#)。 [再販業者を通じて Azure サービスを購入した場合](#) は、価格の詳細について、再販業者に問い合わせてください。

[フィードバックの送信](#)

[ホーム](#) > [Azure SQL](#) > [SQL デプロイ オプションを選択する](#) >

# 仮想マシンの作成



低コスト VM の作成に関するヘルプ

高可用性のために最適化された VM の作成に関するヘルプ

ワークロードに適した VM サイズの選択に関するヘルプ

ユーザー名 \* ⓘ

sqladmin



パスワード \*

●●●●●●●●



パスワードの確認 \*

●●●●●●●●



## 受信ポートの規則

パブリック インターネットからアクセスできる仮想マシン ネットワークのポートを選択します。[ネットワーク] タブで、より限定的または細かくネットワーク アクセスを指定できます。

パブリック受信ポート \* ⓘ

☐ なし☒ 選択したポートを許可する

受信ポートを選択 \*

RDP (3389)



インターネットからのすべてのトラフィックは、既定でブロックされます。受信ポートのルールは、[VM] > [ネットワーク] ページから変更できます。

## ライセンス

Azure ハイブリッド特典を使用すれば、既に所有しているライセンスで最大 49% 節約できます。 [詳細情報](#)

既存の Windows Server ライセンスを使用 ☐

&lt; 前へ

次: ディスク &gt;

確認および作成

フィードバックの送信

ホーム > Azure SQL > SQL デプロイ オプションを選択する >

## 仮想マシンの作成



✅ 検証に成功しました



低コスト VM の作成に関するヘルプ

高可用性のために最適化された VM の作成に関するヘルプ

ワークロードに適した VM サイズの選択に関するヘルプ

基本 ディスク ネットワーク 管理 監視 詳細 SQL Server の設定 タグ 確認および作成

❗ 次に示すコストは見積もりであり、最終的な価格ではありません。価格に関するニーズに応じて、料金計算ツールを使用してください。  
[料金計算ツール](#)

### 価格

1 X Standard D2s v3

発行元: Microsoft

[使用条件](#) | [プライバシー](#) [ポリシー](#)

サブスクリプション クレジット適用可能 ①

**0.1880USD/時間**

[他の VM サイズの価格](#)

### 使用条件

"作成" をクリックすることで、お客様は (a) 上記の Marketplace のオファリングに関連する法律条項とプライバシーに関する声明に同意し、(b) Microsoft より、そのオファリングに関連する料金が、現在の支払い方法に対して Azure サブスクリプションと同じ請求頻度で請求されることを認め、かつ、(c) Microsoft がお客様の連絡先情報、使用量情報、取引に関する情報を、サポート、請求、その他の取引上のアクティビティを目的として、オファリングのプロバイダーと共有する可能性があることに同意するものとします。Microsoft は、サードパーティのオファリングに対する権利は提供しません。その他の詳細については、[Azure Marketplace 使用条件](#)を参照してください。

< 前へ

次へ >

作成

[Automation のテンプレートをダウンロードする](#)

[フィードバックの送信](#)

[ホーム](#) >

## CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013 | 概要



デプロイ



削除



キャンセル



再デプロイ



ダウンロード



最新の情報に更新

概要

入力

出力

テンプレート

## ... デプロイが進行中です



デプロイ名: CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws202...

サブスクリプション: [DP-300 CSR 3](#)リソース グループ: [DP300Mod01lod46618117](#)

開始時刻: 2024/12/12 0:04:35

関連 ID: 92ed690f-0ea2-45f9-9c3a-8a7

## ^ 展開の詳細

リソース	種類	状態	操作の詳細
azureSQLServerVM_...	Microsoft.Compute/d...	Accepted	<a href="#">操作の詳細</a>
azureSQLServerVM_...	Microsoft.Compute/d...	Accepted	<a href="#">操作の詳細</a>

フィードバックを送信する

[🗨️ デプロイに関するエクスペリエンスについてお聞かせください](#)

## Microsoft Defender for Cloud

アプリおよびインフラストラクチャをセキュリティで保護します

[Microsoft Defender for Cloud に移動する >](#)

## 無料の Microsoft チュートリアル

[今すぐ学習を開始する >](#)

## エキスパートとの共同作業

Azure のエキスパートは、Azure での資産の管理を支援し、サポートの最前線となるサービス プロバイダー パートナーです。

[Azure Expert の検索 >](#)

[ホーム](#) >

## CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013 | 概要



デプロイ

🔍 検索



削除



キャンセル



再デプロイ



ダウンロード



最新の情報に更新

🌱 概要

🖨️ 入力

📄 出力

📄 テンプレート



## デプロイが完了しました



デプロイ名: CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws202...

サブスクリプション: [DP-300 CSR 3](#)リソース グループ: [DP300Mod01lod46618117](#)

開始時刻: 2024/12/12 0:04:35

関連 ID: 92ed690f-0ea2-45f9-9c3a-8a7

▼ 展開の詳細

▲ 次の手順

[自動シャットダウンを設定する](#) お勧め[VM の正常性、パフォーマンス、およびネットワークの依存関係を監視する](#) お勧め[仮想マシン内でスクリプトを実行する](#) お勧め[リソースに移動](#)[別の VM の作成](#)

フィードバックを送信する

[🗨️ デプロイに関するエクスペリエンスについてお聞かせください](#)

## Cost Management

予算内に収め、予期しない料金が請求されないように通知を受け取ります。

[コストのアラートを設定 >](#)

## Microsoft Defender for Cloud

アプリおよびインフラストラクチャをセキュリティで保護します

[Microsoft Defender for Cloud に移動する >](#)

## 無料の Microsoft チュートリアル

[今すぐ学習を開始する >](#)

## エキスパートとの共同作業

Azure のエキスパートは、Azure での資産の管理を支援し、サポートの最前線となるサービス プロバイダー パートナーです。

[Azure Expert の検索 >](#)



ホーム > CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013 | 概要 >



## azureSQLServerVM



仮想マシン

検索



この VM を任意のリージョンにコピーしたいのですが

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

タグ

問題の診断と解決

&gt; 接続

&gt; ネットワーク

&gt; 設定

&gt; 可用性とスケール

&gt; セキュリティ

&gt; バックアップとディザスター リカバリー

&gt; 操作

&gt; 監視

&gt; オートメーション

&gt; ヘルプ

接続

開始

再起動

停止

休止状態

キャプチャ

削除

最新の情報に更新

モバイルで開く

フィードバック ...

接続

Bastion を介した接続

リソース グループ (移動)

[DP300Mod01lod46618117](#)

状態

実行中

場所

West US 2

サブスクリプション (移動)

[DP-300 CSR 3](#)

サブスクリプション ID

914c479e-cbb7-43ac-a495-b3ba411325ae

タグ (編集)

[タグの追加](#)

オペレーティング システム

Windows (Windows Server 2022 Datacenter)

サイズ

Standard D2s v3 (2 vcpu 数、8 GiB メモリ)

パブリック IP アドレス

[40.65.96.219](#)

仮想ネットワーク/サブネット

[azureSQLServerVM-vnet/default](#)

DNS 名

未構成

正常性の状態

-

作成時刻

2024/12/11 15:04 UTC

[JSON ビュー](#)

プロパティ

監視

機能 (8)

推奨事項

チュートリアル



仮想マシン

[ホーム](#) > [CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013](#) | [概要](#) > [azureSQLServerVM](#)

# azureSQLServerVM | 接続 ☆ ...

仮想マシン

- 概要
- アクティビティ ログ
- アクセス制御 (IAM)
- タグ
- 問題の診断と解決
- ▼ 接続

## 接続

- Bastion
- Windows Admin Center

- > ネットワーク
- > 設定
- > 可用性とスケール
- > セキュリティ
- > バックアップとディザスター リカバリー
- > 操作
- > 監視
- > オートメーション

最新の情報に更新 🔍 [トラブルシューティング](#) ▼ [その他のオプション](#) ▼ [フィードバック](#)

接続方法  
パブリック IP アドレス | [40.65.96.219](#) ▼

管理者ユーザー名  
sqladmin

ポート [\(変更\)](#)  
3389 [アクセスの確認](#) ⓘ

Just-In-Time ポリシー  
ポート 3389 用に構成されていません [このポート用に構成する](#)

## よく使われる



ローカル コンピューター

### ネイティブ RDP

追加のソフトウェアを必要とせずにネイティブ RDP 経由で接続します。テスト用としてのみお勧めします。

パブリック IP アドレス (40.65.96.219)

選択

RDP ファイルのダウンロード

[ホーム](#) > [CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013](#) | [概要](#) > [azureSQLServerVM](#)

# azureSQLServerVM | 接続

仮想マシン

[最新の情報に更新](#)[トラブルシューティング](#)[その他のオプション](#)[フィードバック](#)[概要](#)[アクティビティ ログ](#)[アクセス制御 \(IAM\)](#)[タグ](#)[問題の診断と解決](#)[接続](#)

接続



Bastion

Windows Admin  
Center[ネットワーク](#)[設定](#)[可用性とスケール](#)[セキュリティ](#)[バックアップとディザスター リカバリー](#)[操作](#)[監視](#)[オートメーション](#)

接続方法

パブリック IP アドレス | [40.65.96.219](#)

管理者ユーザー名

sqladmin

ポート [\(変更\)](#)3389 [アクセスの確認](#) ⓘ

Just-In-Time ポリシー

ポート 3389 用に構成されていません [このポート用に構成する](#)

よく使われる



ローカル コンピューター

ネイティブ RDP

追加のソフトウェアを必要とせずにネイティブ RDP 経由で接続します。テスト用としてのみお勧めします。

パブリック IP アドレス (40.65.96.219)

選択

RDP ファイルのダウンロード





[ホーム](#) > [CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013](#) | [概要](#) > [azureSQLServerVM](#)

# azureSQLServerVM | 接続 ☆ ...

仮想マシン

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

タグ

問題の診断と解決

接続

接続

Bastion

Windows Admin  
Center

&gt; ネットワーク

&gt; 設定

&gt; 可用性とスケール

&gt; セキュリティ

&gt; バックアップとディザスター リカバリー

&gt; 操作

&gt; 監視

&gt; オートメーション

[最新の情報に更新](#)[トラブルシューティング](#) ▾[その他のオプション](#) ▾[フィードバック](#)

接続方法



リモート デスクトップ接続のセキュリティ警告



このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか？

このリモート接続によりローカル コンピューターまたはリモート コンピューターに問題が起きる可能性があります。接続元がわかっているか、またはこの接続を以前も使用したことがある場合のみ接続してください。



発行元: 不明な発行元

種類: リモート デスクトップ接続

リモート コンピューター: 40.65.96.219



このコンピューターへの接続について今後確認しない(O)



詳細の表示

接続(N)

キャンセル(C)

選択

RDP ファイルのダウンロード





# azureSQLServerVM | 接続

仮想マシン

- 概要
- アクティビティ ログ
- アクセス制御 (IAM)
- タグ
- 問題の診断と解決
- 接続

- 接続
  - Bastion
  - Windows Admin Center
  - ネットワーク
  - 設定
  - 可用性とスケール
  - セキュリティ
  - バックアップとディザスター リカバリー
  - 操作
  - 監視
  - オートメーション

最新の情報に更新



トラブルシューティング



その他のオプション

フィードバック

接続  
パブ管理者ユーザ  
sqladminポート (変更)  
3389 アクセスJust-In-Time ポ  
ポート 3389 月

よく使われ



ネイティブ

追加のソフ

由で接続し

パブリック



Windows セキュリティ

## 資格情報を入力してください

これらの資格情報は、40.65.96.219 への接続に使用されます。

sqladmin

パスワード

●●●●●●●●●●●●●●●●

☐ このアカウントを記憶する

その他

OK

キャンセル

選択

RDP ファイルのダウンロード



ホーム &gt; CreateVm-microsoftsqlserver.sql2019-ws2022-sqldev-20241212000013 | 概要 &gt; azureSQLServerVM

# azureSQLServerVM | 接続

仮想マシン

検索

概要

アクティビティ ログ

アクセス制御 (IAM)

タグ

問題の診断と解決

接続

接続

Bastion

Windows Admin  
Center

&gt; ネットワーク

&gt; 設定

&gt; 可用性とスケール

&gt; セキュリティ

&gt; バックアップとディザスター リカバリー

&gt; 操作

&gt; 監視

&gt; オートメーション

最新の情報に更新

接続方法  
パブリック IP管理者ユーザー名  
sqladminポート (変更)  
3389 [アクセスの確認](#)Just-In-Time ポリシー  
ポート 3389 用に構成さ

よく使われる



ネイティブ RDP


追加のソフトウェア  
由で接続します。デ  
パブリック IP アドレ

選択

RDP ファイルのダウンロー




リモート デスクトップ接続


 このリモート コンピューターの ID を識別できません。接続しますか?

リモート コンピューターは、セキュリティ証明書に問題があったため認証されませんでした。続行すると安全でない可能性があります。

証明書の名前

 リモート コンピューターからの証明書の名前:  
azureSQLServerV

証明書エラー

 リモート コンピューターの証明書の確認中に発生したエラー:  
  
この証明書は信頼された認証機関からのものではありません。

これらの証明書エラーを無視して接続しますか?

☐ このコンピューターへの接続について今後確認しない(D)

証明書の表示(V)...

はい(Y)

いいえ(N)

Windows Server

A

Microsoft Edge

Microsoft SQL Server 2019

Microsoft SQL Server Tools 20

Analysis Services Deployment Wizard

Database Engine Tuning Advisor 20

SQL Server Management Studio 20

SQL Server Profiler 20

S

Server Manager

Settings

W

Windows Accessories

Windows Administrative Tools

Windows Ease of Access

Windows PowerShell

Server Manager

Windows PowerShell

Windows PowerShell ISE

Windows Administrative Tools

Task Manager

Control Panel

Remote Desktop Connection

Event Viewer

File Explorer

Azure Arc Setup

Type here to search

Task View

Microsoft Edge

File Explorer

Server Manager

# Microsoft SQL Server Management Studio

v20.2

© 2024 Microsoft.  
All rights reserved.

Connect to Server

## SQL Server

Login Connection Properties Always Encrypted Additional Connection Parameters

Server

Server type: Database Engine

Server name: azureSQLServerV

Authentication: Windows Authentication

User name: azureSQLServerV\sqladmin

Password:

☐ Remember password

Connection Security

Encryption: Mandatory

☒ Trust server certificate

Host name in certificate:

Connect Cancel Help Options <<

Microsoft SQL Server Management Studio (Administrator)

File Edit View Tools Window Help

New Query MDX DMX XMLA DAX

Execute

Object Explorer

Connect

azureSQLServerV (SQL Server 15.0.4410.1)

- Databases
- Security
- Server Objects
- Replication
- PolyBase
- Always On High Availability
- Management
- Integration Services Catalogs
- SQL Server Agent (Agent XPs disabled)
- XEvent Profiler

Server Properties - azureSQLServerV

Select a page

- General
- Memory
- Processors
- Security
- Connections
- Database Settings
- Advanced
- Permissions

Script Help

Name	Value
Name	azureSQLServerV
Product	Microsoft SQL Server Developer (64-bit)
Operating System	Windows Server 2022 Datacenter (10.0)
Platform	Windows
Version	15.0.4410.1
Language	English (United States)
Memory	8 GB
Processors	2
Root Directory	C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL15.MSS
Server Collation	SQL_Latin1_General_CP1_CI_AS
Is Clustered	False
Is XTP Supported	True
Is HADR Enabled	False

Connection

Server:  
azureSQLServerV

Connection:  
azureSQLServerV\sqladmin

[View connection properties](#)

Name  
Name of the server and instance.